

報道機関各位

令和7年7月16日
北九州市都市ブランド創造局

夏休みミニ展示 松本清張と芥川龍之介

青年時代の松本清張は、芥川龍之介の本を愛読し、多分にその影響を受けたことを『半生の記』に記し、『昭和史発掘』では「芥川龍之介の死」と題した一編を書き、その死を昭和史の重大事として扱うなど、多く芥川について書いています。

本展示では、これら清張の文章から、芥川への眼差し、思いを紹介します。

また、小倉時代に清張が手に取って読んだとされる、小野家所蔵の『芥川龍之介全集』をめぐる、芥川の東京帝大時代の同期、豊田實についても併せて紹介します。

会 期 令和7年7月26日（土）～令和7年9月7日（日）
9：30～18：00（入館は17：30まで）

会 場 松本清張記念館2F 展示室出口横

観覧料 常設展示観覧料に含む
常設展示観覧料：一般 600 円（団体・高齢者割引（※）：480 円）
中・高生 360 円（団体：280 円）
小学生 240 円（団体：190 円）
※団体は 30 名以上

主な展示品 松本清張『半生の記』、松本清張『過ぎゆく日暦』
松本清張「芥川龍之介の死」（『昭和史発掘』2巻）
「文藝春秋 芥川龍之介追悼號」（1927.9）
小野家所蔵『芥川龍之介全集』（岩波書店 1927.11-1929.2）
豊田實『私の歩いてきた道』（松柏社 1973.9）
豊田實「芥川龍之介とエドガ・アラン・ポオ」（『文学研究』1934.1）

【問い合わせ先】
北九州市立松本清張記念館
担当：稲田、久富
Tel：093-582-2761
Fax：093-562-2303



松本清張記念館
ホームページ